



TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



WEEKLY REPORT

生きること活かすこと

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2013年8月5日発行 第365号

2013-2014年度 No. 5



本日のプログラム

平成25年8月5日

卓話『人は食べた物でできている。 (病気にならない食事内容)』

ナチュラルラボ株式会社 代表取締役
一般社団法人分子整合医学美容食育協会 東京中央支部支部長

田中 裕規 様

プロフィール

1979年8月生まれ
20代前半：イタリアン、日本料理の料理人として従事。
20代後半：1年ほどレストランでウェイターとして働いていた時に初対面のお客様に突然誘われ社員50人程のインターネットコンテンツの制作会社に入社。企画、発案などの責任者を務める。
2年程従事し、子供の出産に伴い独立。インターネットコンテンツ制作、広告代理業を行う株式会社サイファーを設立。
30代～現在：5期を越えたあたりから、利益を求める業務に喜びを感じることができず、違和感を

持ち、各部署の責任者に事業譲渡を決意。
30代に入り勉強していた分子整合医学、酵素栄養学などの最先端の栄養学を学んで来たことを活かすため『健康である事の喜びと幸せ、感謝を』『子供が食事を選ぶまでは』の2つを企業理念にナチュラルラボ株式会社を設立。
一般社団法人分子整合医学美容食育協会認定ファスティングマイスター(断食指導者)の資格を取得。東京中央支部支部長として食育、家庭で役立つ栄養学の普及活動、ファスティング(断食)の普及活動、病気に無縁ながらだ作りの食事指導、ボディメイクトレーナーとして活動を行っている。

クラブからのお知らせ [7月29日例会]

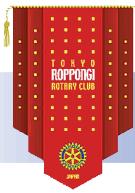
● 平松会長挨拶

弁護士は、依頼者に「勝訴約束」をしてはならないというルールに縛られています。勝訴約束を禁じているのは、勝訴可能性の低い事件で、弁護士が、私なら勝訴しますと説明して依頼者から着手金を取得することによって、依頼者を敗訴させた上に経済的な損害まで加える危険を避けるためです。依頼者は有利な解決を図りたいとの一念で、自分に不利な事情を話さなかったり、話したとしても些細なこととして話しがちですから、依頼者から聞いたお話だけで勝訴可能性を判断できないという実際上の理由もあります。しかし、とりわけ個人の依頼者にとっては、多額の着手金を支払ったのに敗訴する可能性があれば、法的措置を諦めるという選択肢がありますから、勝訴可能性は、弁護士に最も尋ねたい処なのです。

そこで私は、「あなたの説明以外にあなたに不利な事実がなく、しかもそのあなたの説明する事実が存在していることを裁判所で証明できれば、勝訴するはずです。」と、私の依頼者に説明しています。

● 渡辺幹事報告

- RYLAの申請を次回理事会で協議・審議いたします。ご推薦がございましたら、申請書類の準備をお願い致します。
- 8月の例会は、第2月曜日が休会。通常例会が第1と第4月曜日の2回。19日の第3月曜日が「夜間例会」です。暑い夏ですが、どうぞ元気に休まず例会への出席をお願い致します。



平成25年6月17日
卓話『日本人の覚悟』

ジャーナリスト
株式会社鳩ネットワーク 代表取締役
鳩 信彦 様



今日は「日本人の覚悟」がテーマです。私は今の日本人に一番欠けているのは覚悟じゃないかと思っています。3.11の大震災から2年経ってまだ復旧復興の槌音が聞こえてこないのも、日本人の覚悟がビシッと決まっていないことがあるのかなと思います。最近、覚悟が成功させたんだなと思うのは、JAXA川口氏が「はやぶさ」を作つて火星の小惑星イトカワから試料を取つて来たことです。3億キロ離れたイトカワの平地に降りるのは、日本から衛星を飛ばしてアフリカの大地に置いた10円玉に着地させるようなもんだと聞きました。これは凄まじいことで、それまで何度も失敗していたために、本当にこれが最後だという覚悟でやったんだろうと思います。月旅行以外で太陽系に衛星を飛ばしサンプルを持ってきたのは世界初です。

2050年には日本の人口は9000万人前後になります。年平均で70万人ぐらい減るわけです。しかも2100年には4700万人になるといわれていて、そうなるともう本当の中堅国家です。そういう中で日本はどうやって生きていくかということが今、問われています。ここ200年を見ると第一の国難は幕末明治維新ですね。徳川が倒れて長州や薩摩が権力を握ろうという争いが起こる。清国の海岸線はイギリスやフランスなどの植民地になっていました。幕末明治維新は植民地になる危険と国家が大混乱に陥ってしまうという内憂外患を抱えていた。このときに立ち上がったのが脱藩し死を覚悟して日本中を動きまわった若い世代。坂本龍馬や中岡慎太郎、吉田松陰などが日本も近代国家を作らなきゃいけないという思想を掲げて土台を作りました。1868年に明治維新があって第一次伊藤内閣ができるのは1885年。20年近くに亘って沢山の欧米使節団が世界の近代国

家とは何かを調べて回ります。当時の外国人によると、日本人は髪はぼさぼさで洋服も粗末だけど目が爛々と輝き、その凛とした雰囲気は辺りを圧するものがあったそうです。そこには日本を再建しなきゃいけないという



覚悟があったんじゃないかなと思います。その後の第二次世界大戦で日本は無条件降伏。第二の国難です。その時に日本を再建したのも若い人が中心でした。官庁もマスコミも教育界も、偉い人たちはGHQによって全部追放されたからですね。財閥も解体されました。当時の日本は世界中から冷たい目で見られていたけれども、それを撥ね返す覚悟を持っていたことが非常に大きかったんじゃないかな。その後ニクソンショックやオイルショック、バブル崩壊という苦難があったにも関わらず、日本は今第3位のGDP大国ですが、内向き、自信喪失が目立ち第3の国難と言われています。もう一度我々は過去の歴史を見て、くじけることなくやって行けるという自信と覚悟を持つことが大事だと思います。

20世紀は資本主義の時代でしたけれど、21世紀の思想はどう行くべきなのかということで、今「共同体の徳」と「公益」が大きなキーワードになります。奉仕やコミュニティーの精神、人間の品性といったようなことがロータリーの精神だろうと僕は思いますけれども、公益という言葉はそれに通じると思います。是非、ロータリーからもいろいろなことを発信していただければと思います。ありがとうございました。



平成25年7月22日
『森美術館Arts鑑賞会』

昨年、松島前会長のご提案でスタートしたアートのアクティビティ。

第一回目は森佳子会員のご提案で「森美術館Arts鑑賞会」として企画され、森美術館のスタッフの方々のご協力を得て、7月22日の例会終了後に開催されました。

六本木ヒルズ・森美術館10周年記念展として開催されている展覧会、「LOVE展:アートにある愛のかたち—シャガールから草間彌生、初音ミクまで」は、「愛」というテーマを掲げ、美術史を彩る名作や意欲的な新作を含む200点を通して愛のかたちを探るとても素晴らしい企画展です。

ジェ夫・クーンズの巨大なハートの立体作品、ロバート・インディアナのLOVEの肉筆など、海外の所蔵する美術館に行かなければ絶対に見れない門外不出のマスターピースを含む古今東西の素晴らしい作品に加え、初音ミクなど最新の技術を使った作品も展示され、文明や文化、時代を超えて様々な視点で愛のありかたを考えさせられる、とても奥の深いキュレーションになっています。

インカムで聞く森美術館学芸員の解説も素晴らしく、楽しく学べるイベントになりました。

森美術館の次の展覧会は、9月21日から始まる「六本木クロッシング2013展:アウト・オブ・ダウト—来たるべき風景のために」。日本のアートシーンを総覧する3年に一度の展覧会シリーズです。また鑑賞会を企画したいと思いますので、よろしくお願ひします。 (記:末松亜斗夢会員)

参加メンバーは、山口さん、浅田さん、深田さん、平松さん、門田さん、片岡さん、小篠さん、日下部さん、マークエスティルさん、三田さん、森さん、中川さん、小竹さん、小笠さん、末松さん、高柳さん、谷口さんご夫妻、渡邊滋さん、渡辺美智子さん、安井さんの21名でした。



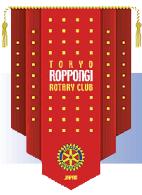
草間彌生《愛が呼んでいる》



ロバート・インディアナ



初音ミク



例会日》月曜日 12:30 – 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL : 03-4333-1234)

**ニコニコBOX情報**

三上 敦さん(京都伏見RC)

本日はおじゃま致します。よろしく御願い致します。

広報委員会

7月9日に広報委員会のキックオフ会を行いました。一年間皆様のご協力お願い致します。

小笠 裕子さん

中竹様、本日の卓話を楽しみにしてまいりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

片岡 雅敦さん

当社ゴルフ場が7月26日に開場50周年を迎えました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

末松 亜斗夢さん

中竹様、本日の卓話を楽しみにしております。

小篠 ゆまさん

中竹竜二様、本日の卓話をとても楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

齋藤 明子さん

梅雨明けが早すぎたようで、今ごろ一生懸命雨が降り、色々被害が出ています。被害地の皆様にお見舞申し上げます。芝に雨が降ってほしいです。

苅田 吉夫さん

日本各地に豪雨が続いている。地球が少しずつ変動しているのでしょうか。

杉本 潤さん

良く降りますね。

谷口 郁夫さん

先週のLOVE展、素晴らしかったです。また、よろしくお願いいたします。

平松 和也さん

中竹様、本日の卓話を楽しみにしています。ご来臨下さいまして有難うございます。

今村 道子さん

中竹様、本日の卓話を楽しみにしております。

安井 悅子さん

中竹竜二様、本日の卓話を楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。

山本 良樹さん

7歳の孫がやっと泳げるようになりました。

渡邊 滋さん

子供の頃、夏になるとよく蛍を追いかけたものでした。「手の上に 悲しく消ゆる 蛍かな」向井去来



7月 29日 合 計 47,000円
 累 計 275,000円

**次のプログラム**

平成25年8月19日
『納涼夜間例会』

18:00 受付開始
 18:30 開会点鐘

7月29日の例会出席率 (暫定)

- 会員の例会出席数(出席率) 31名 (65%)
- ゲスト・ビジターの参加者数 4名

※ メキャップを含めていない暫定の人数です。

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 平松 和也 幹事 渡辺 美智子 広報委員長 安井 悅子 広報委員長 片岡 雅敦 副委員長 小篠 ゆま

事務局》〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>